

第2回分科会での事務局修正案を
基軸としています。

番号	区分	ページ	章 番号	施策 番号	施策名など	意見、修正内容	趣旨	対応	修正前	修正案	担当課	意見提出者	分科会				
1	意見	59	3	1	互いに支え合う地域福祉の充実	■【背景】 「超高齢社会」という文言があるが、高齢化率21%以上が超高齢社会であることを説明した方がいい。	一般的には「高齢化社会」が知られているため。	用語解説として記載する。	-	「超高齢社会」 総人口に占める65歳以上の人の割合を高齢化率といい、高齢化率が21%を超えた社会のことを言う。	福祉総務課 高齢福祉課	白木紀好	保健福祉				
2	意見	63	3	3	共生社会をめざす障がい者福祉の充実	■成果指標と目標値 「3-3-2社会参加への支援」に該当するの成果指標と目標値がない。 数値目標として挙げられる指標について、検討をお願いしたい。	「3-3-1地域生活への支援」に対応した成果指標が「グループホームにて自立した生活をしている人数」、「3-3-3就労への支援」に対応した成果指標が「福祉的就労支援を受ける人数」とすると、「3-3-2社会参加への支援」に該当するの成果指標と目標値がない。	社会参加支援事業である福祉タクシー利用助成事業、地域生活支援事業であるコミュニケーション支援事業、移動支援事業、自動車運転免許取得・改造助成事業等を成果指標に挙げられないか検討した。 ・福祉タクシー利用助成事業：年間1万円分のタクシー券を交付することにより生活圏の拡大及び社会参加の促進を図る。 H24年度 H25年度 H26年度 交付枚数の うちの利用率 70% 69% 73% 交付人数 2229人 2318人 2300人 ・コミュニケーション支援事業：聴覚障害や言語機能障害等がある方が地域で円滑にコミュニケーションが取れるよう、手話通訳者や要約筆記者を派遣する。 H24年度 H25年度 H26年度 派遣利用者の実人数 42人 40人 52人 通訳者等の派遣時間 529時間 357時間 380時間 ・移動支援事業：在宅で生活する障害者で屋外での移動が困難な方に対して外出の際の支援を行う。 H24年度 H25年度 H26年度 実利用者数 137人 141人 141人 総利用時間 13,542時間 14,583時間 14,583時間 ・自動車運転免許取得・改造助成事業：身体障がい者、知的障がい者で就労等社会参加が認められ自動車運転免許を取得する場合、10万円を上限に免許取得費用を助成する。また、身体障がい者で就労等社会参加を目的に自動車改造を行う場合、10万円を上限に改造費用を助成する。 H24年度 H25年度 H26年度 運転免許助成件数 2件 2件 4件 改造助成決定件数 6件 2件 9件						対応欄にあるようにいくつかの事業を検討したものの、成果指標として掲げるには適当なものなかった。個別の事業は障害福祉計画にて目標値を設定するので、社会参加への支援については障害福祉計画の進捗で対応したい。	障がい福祉課	山下秀一	保健福祉
3	意見	65	3	4	健康づくりの推進と保健・医療の連携	【背景】 「ライフスタイルの変化により、生活習慣病や心の病は増加傾向にあり、医療費や市民の生活の質に大きな影響を与えています。このため、生活習慣病の発症予防や重症化予防などに視点を置いた市民の健康づくりが求められています。」だと、前半で「心の病」について触れていながら、後半では生活習慣病予防のことだけ書いているということに違和感があるため、「このため、これらの疾患の発症予防や～」として両方含める形にしてはどうか。	前半で「心の病」について触れていながら、後半では生活習慣病予防のことだけ書いているということに違和感があるため。		【背景】 ライフスタイルの変化により、生活習慣病や心の病は増加傾向にあり、医療費や市民の生活の質に大きな影響を与えています。このため、生活習慣病の発症予防や重症化予防などに視点を置いた市民の健康づくりが求められています。	【背景】 ライフスタイルの変化により、生活習慣病や心の病は増加傾向にあり、医療費や市民の生活の質に大きな影響を与えています。このため、生活習慣病の発症予防や重症化予防などに視点を置いた市民の健康づくりが求められています。	健康づくり課	山下秀一	保健福祉				
4	意見	65	3	4	健康づくりの推進と保健・医療の連携	【背景】 「ライフスタイルの変化により、生活習慣病や心の病は増加傾向にあり～」とある。「心の病」という表現を気にする人もいる。言葉を再検討してもらいたい。	一般的にも「心の病」という言葉が使われているようだが、この表現を嫌がる人がいるのも事実である。		【背景】 ライフスタイルの変化により、生活習慣病や心の病は増加傾向にあり、医療費や市民の生活の質に大きな影響を与えています。このため、生活習慣病の発症予防や重症化予防などに視点を置いた市民の健康づくりが求められています。	【背景】 ライフスタイルの変化により、生活習慣病や心の病は増加傾向にあり、医療費や市民の生活の質に大きな影響を与えています。このため、生活習慣病の発症予防や重症化予防などに視点を置いた市民の健康づくりが求められています。	健康づくり課	片瀬賢司	保健福祉				
5	意見	68	3	5	自立を支える生活福祉の充実	■成果指標と目標値 成果指標「就労支援を受けている生活保護受給者のうち、収入増が図られた人の割合」を、「生活保護受給者のうち、就労支援を受け収入増を図られた人の割合」とした方がわかりやすい。	生活保護受給者のうちを先にした方が、わかりやすい。	■成果指標と目標値 「就労支援を受けている生活保護受給者のうち」を、市民がより分かりやすいような表現に変更する。	■成果指標と目標値 成果指標「就労支援を受けている生活保護受給者のうち、収入増が図られた人の割合」	■成果指標と目標値 成果指標「生活保護受給者のうち、就労支援を受け収入増となった人の割合」	生活福祉課	白木紀好	保健福祉				
6	意見	69	3	5	自立を支える生活福祉の充実	■取組方針 「～適正実施と早期の自立支援に取り組みます。」また、3-5-1「適正扶助の推進（概要）」に「生活保護の適正実施に努めます。」の部分の「適正実施」という言葉が市民に伝わりにくいのではないかと。	不正受給を防止し、生活保護法でうたう適正な運用という意味だと思うが、「適正実施」という言葉だけでは、市民にはわかりにくいのではないかと。	■取組方針 「生活保護の適正実施」を「生活保護の適正な実施」とし読みやすい表現とする。 【取組（基本事業）概要】 3-5-1「適正扶助の推進」概要 「生活保護の適正実施に努めます。」部分を市民がよりわかりやすいような表現に変更する。	■取組方針 ～セーフティーネットとしての生活保護の適正実施と早期の自立支援に取り組みます。 【取組（基本事業）概要】 3-5-1「適正扶助の推進」概要 生活保護世帯ごとの実態的確な把握と、実情に応じた相談支援体制の構築により、生活保護の適正実施に努めます。必要に応じて、必要保護を行います。最低限の生活を保障するよう努めます。〔以下略〕	■取組方針 ～セーフティーネットとしての生活保護の適正実施と早期の自立支援に取り組みます。 【取組（基本事業）概要】 3-5-1「適正扶助の推進」概要 生活保護世帯ごとの実態的確な把握と、実情に応じた相談支援体制の構築により、生活保護の適正実施に努めます。必要に応じて、必要保護を行います。最低限の生活を保障するよう努めます。〔以下略〕	生活福祉課	山下秀一	保健福祉				